

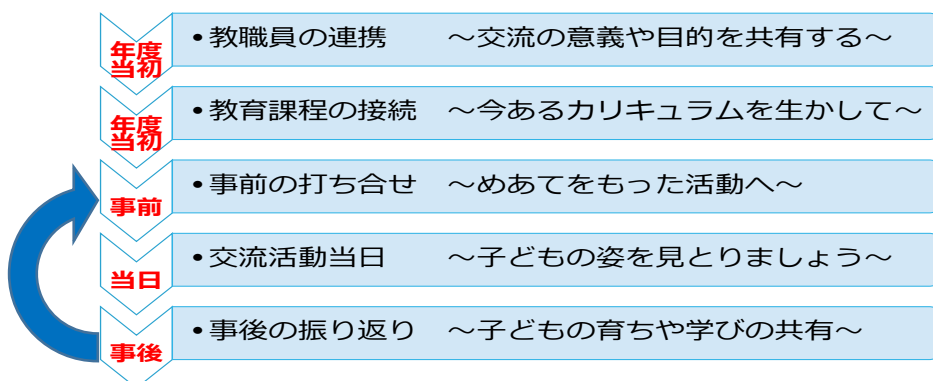
【保幼小連携・接続の4ステップ】

	架け橋期のカリキュラム (少なくとも5歳～小1の2年間を対象)	保幼小連携の体制づくり
ステップ1 基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> 園・小学校での活動の共有 子供の交流 	<ul style="list-style-type: none"> 連携の窓口の明確化 保幼小連携に対する教職員の意識啓発と参画 園、学校全体で保幼小連携の情報を共有
ステップ2 検討・開発	<ul style="list-style-type: none"> 保幼小共通の視点があるカリキュラムの作成 教材としての環境の共通性の理解 幼児と児童の双方に学びのある交流の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 保幼小の合同会議の設置 (事前の打ち合わせや事後の振り返り、研修会等) 互いの保育・教育の内容や方法に関する理解の共有
ステップ3 実施・検証	<ul style="list-style-type: none"> 保幼小共通の視点があるカリキュラムの実践 教材としての環境の活用 子供の自発的な交流が生まれる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 保幼小の合同会議の充実 互いの保育・教育の内容や方法に関する理解の深化
ステップ4 改善・発展	<ul style="list-style-type: none"> 〈ステップ1～3のPDCAサイクルが確立〉 年度末に次年度のカリキュラムを立案 持続的・発展的な子供の交流実施 	<ul style="list-style-type: none"> 保幼小の合同会議の定着 互いの保育・教育の内容や方法に関する理解の改善・発展 保護者への積極的な広報

【連携担当者のチェックボックス】

ステップ	✓	保幼小連携担当者の動き
ステップ1 基盤づくり		連携担当者の名簿を見てみましょう。 小学校区・地域の保育所(園)・幼稚園、認定こども園を確認しましょう。
		担当者同士で連絡を取り合ってみましょう。 まずアクションを
ステップ2 検討・開発		実際に会って、情報の交換をしてみましょう。
		打合せを定期的の実施しましょう。
		それぞれの小学校、園など組織全体で、情報を共有しましょう。 お互いの行事への参加など連携(交流)活動を始めてみましょう。
ステップ3 実施・検証		交流活動を、お互いの年間計画・教育課程に位置付けましょう。
		交流活動を行い、振り返りをしましょう。
		交流活動・計画を振り返り、次年度へつなげましょう。 継続のために
ステップ4 改善・発展		合同会議を定着させ、お互いの保育・教育の内容や方法に関する理解の改善・発展につとめましょう。
		保護者への積極的な広報をしましょう。

【保幼小連携における交流の流れ】



具体的な実践の様子は「事例紹介」の動画を見てイメージしましょう。



幼児教育センターでも、保幼小連携・接続についてサポートしています。
お気軽にご相談ください。